

新校舎建設計画決定



大阪鍼灸専門学校の校舎は、昭和48年4月に開校以来、講堂の増設、新校舎の建設、旧館の改修を経て現在に至っています。この中で旧館は老朽化が進み、建て替えの必要性が生じていました。

一方、森ノ宮学園は経営基盤の安定と、鍼灸師教育の活性化を計るため、新規事業の展開を模索しておりましたが、この度、柔道整復師養成施設の設置に向け準備を始めました。入学定員は120名を予定しており、これにより新校舎の建設に踏み切ることとなりました。

主な施設は、診療所(内科、心療内科、整形外科、リハビリテーション科、鍼灸施術所、柔整施術所)、図書室、古典資料室、柔道場、小講堂、温水プールなどを予定しています。

柔整科設置につきましては、日本古来の整復術と整形外科の融合を柱とし、真に価値ある整復術の発展と、国民に信頼される柔道整復術師を育成することが目的です。

森ノ宮学園は建学の精神を離れず、医療環境の変化に即応できる臨床家教育を目指し、益々奮起する所存です。新しい年を迎え、諸兄のご支援に感謝しつつご報告申し上げます。 副理事長 森俊豪

●新年のご挨拶



会 長 松田 涇

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

諸兄姉にはご家族うち揃い、愛でたく新しい年をお迎えになられた事と存じ、慶賀の念にたえません。昨年中は何かと校友会のためにご尽力賜り、感謝申し上げます。おかげさまで皆様御存知の通り、昨年秋にはインターネットのホームページも一部を除き完成致しました。一度はアクセスしてみて下さい。懐かしい母校のあれこれに出会える事でしょう。

URL <http://www.osaka-am.ac.jp>

さて今年1999年は文字通り世紀末ですが、学校

法人森ノ宮学園にとっては、新しい一步を踏み出す記念すべき年になるかも知れません。昨年新しく校長に就任された安雲和四郎先生のお話によると、今度新しく「柔道整復」の教育を行う事になり、学校正面の部分新しく建直し、全体として調和のとれた建物として完成する予定だと伺っております。学校創立25年を期して今まで鍼灸だけで何か片手落のような感じを抱かせた「大阪鍼灸専門学校」が、新しい校名で出発するのもそんなに先ではなく、21世紀初頭に向けて大きく羽ばたく事でしょう。さて今年は一度「校友会総会」を開催する事を考慮中です。未だ日時・会場は決定致しておりませんが、決定次第お知らせ致しますので、是非日程をご都合され多数御参加頂ければ幸甚です。新年にあたり諸兄姉の益々のご健勝をお祈り致します。

理事長ご挨拶

理事長 坂口 弘

新しい年を迎えて、校友会の皆様にご挨拶申し上げます。昨年新しい理事会が発足し、米山先生を理事長に拝して、一同張り切って出発したのに、間もなく3月米山先生の急逝という不幸に見舞われました。新理事も交代して間もなくであったため、古株の私がしばらく理事長を務めるように求められました。余り活動が出来ませんが、しばらく老骨に鞭打って役割を果たして行きたいと考えております。校友の皆様の御支援をお願いする次第です。日本の社会は不況の

風が吹きまくっていますが、大阪鍼灸専門学校は今飛躍の時を迎えんとしています。新事業へと拡張、又新校舎の建設などが考えられ、近い将来皆様にとっても誇りうる母校の姿を予想できる段階にきています。森副理事長、安雲校長をはじめ理事の先生方も気鋭の方々が揃っていて、夫々仕事に励んでおります。実力のある鍼灸師の教育という本校頭初の理念を忘れることなく、充実した前進を志しておりますので、どうぞ御期待下さい。そして校友力を合わせ母校の発展に力をお貸し下さるようお願い致します。

校長ご挨拶

校 長 安雲 和四郎

新年明けましておめでとうございます。本校は昭和48年開校以来鍼灸教育一筋に情熱を傾けてまいりました。おかげさまで幾多の優秀な鍼灸師が医療現場で国民の健康を守っていただいております。20世紀は生産して消費する時代でしたが21世紀は自然を、物を大切に、人を中心と

した優しさを求める時代です。鍼灸はその時代に沿った医療として人の全人格を尊重する医学です。我々は自信を持って鍼灸師教育にあたっています。先生方も高い理想を持って日常診療に従事していただき、併せて後輩の指導をお願いいたします。

●代議員会報告 尾崎朋文

平成10年度校友会代議員会が平成10年11月3日に開催されました。ご存知の通り学校では文化祭が行われ、にぎやかな中での校友会代議員会でありました。会議は松田 涇会長の挨拶で始まり、安雲和四郎校長の日頃のお礼を兼ねた挨拶がされました。議事は松田 涇先生が議長に就任し過半数の出席を確認した後下記のごとく行われました。

議事

1.平成9年度事業報告及び決算報告（報告書1）

2.平成10年度事業計画及び予算案

事業計画

校友会報の発行

インターネット事業の継続

名簿発行準備など

3.代議員、顧問の変更の件

顧問 退任 米山義理事長（逝去）、山本克己

新任 安雲和四郎校長、三好雪子理事

代議員 退任 中西栄一郎

新任 竹中浩司

4.学園報告

森俊豪副理事長より柔道整復学科増設の計画が報告されました。（表紙参照）

●決算報告書

大阪鍼灸専門学校校友会

決算報告書

（白：平成 9年 4月 1日）
（至：平成10年 3月31日）

（収入の部）

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前期繰越金	(10,786,677)	(10,786,677)	
普通預金	1,596,064	1,596,064	
定期預金(基本金)	8,000,000	8,000,000	
定期預金(名簿積立金)	1,190,613	1,190,613	
会 費(入会金)	1,220,000	1,220,000	9年度入学生61名
名簿積立金	1,200,000	1,200,000	名簿積立金取崩し
基本金	1,000,000		基本金取崩し
預金利息	20,000	29,455	
基本金繰入		9,680	
名簿積立金繰入		9,387	
合 計	14,226,677	13,255,199	

（支出の部）

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
印刷費	1,600,000	335,975	名簿150万会報10万
通信費	600,000	190,000	
会議費	500,000	320,519	
慶弔費	100,000	30,000	
クラス会助成金	100,000	60,000	九州地区、3期他
インターネット準備金	2,000,000	829,986	
雑費	100,000	5,222	図書、為替手数料
予備費		0	
基本金繰入	0	9,680	
名簿積立金繰入		9,387	
基本金取崩し	1,000,000		
名簿積立金取崩し	1,200,000	1,200,000	
小 計	7,200,000	2,990,769	

次期繰越金	(7,026,677)	(10,264,430)	
普通預金	26,677	2,254,750	
定期預金(基本金)	7,000,000	8,009,680	
定期預金(名簿積立金)	0	0	
合 計	14,226,677	13,255,199	

大阪鍼灸専門学校校友会

平成10年度予算案

（収入の部）

項 目	予 算 額 案	
前期繰越金	(10,264,430)	
普通預金	2,254,750	
定期預金(基本金)	8,009,680	
定期預金(名簿積立金)	0	
会 費(入会金)	1,180,000	10年度入学生59名@20,000
名簿積立金		
基本金	1,500,000	基本金取崩して収入にしました
預金利息	20,000	
基本金繰入		
名簿積立金繰入	500,000	
合 計	13,464,430	

（支出の部）

項 目	予 算 額 案	
印刷費	2,000,000	名簿印刷代繰越金分180万 会報20万
通信費	200,000	会報他通信費
会議費	200,000	校友会会議費
慶弔費	50,000	同窓会会員の慶弔費
クラス会助成金	100,000	卒業生クラス会等補助金
インターネット準備金	1,420,014	繰越金分117万及び10年度学校へ補助
雑費	100,000	
予備費	100,000	
基本金繰入	0	
名簿積立金繰入	500,000	
基本金取崩し	1,500,000	基本金を取崩して収入にします
名簿積立金取崩し		
小 計	6,170,014	

次期繰越金	(7,294,416)	平成11年度への繰越金です
普通預金	284,736	
定期預金(基本金)	7,009,680	
定期預金(名簿積立金)	0	
合 計	13,464,430	

※予備費¥100,000を下記の項目に変更

雑 費 ¥100,000

インターネット及び校友会名簿費用については、繰り延べし一部平成10年度支払とします。

●附属診療所だより

大阪鍼灸専門学校附属診療所は、昭和57年に東洋医学(漢方医学)を治療の中心にすえた診療所として誕生しました。患者さんのためには「東洋医学科」あるいは「漢方科」と標榜するのが理想ですが法律上できませんので、標榜科目は「一般内科」と、東洋医学の重要な概念である“気”も扱うということで「心療内科」としています。東洋医学の治療は湯液だけでなく、湯液と鍼灸・養生が三位一体となって機能することが肝要です。したがって鍼灸部と協同で漢方薬と鍼灸治療を併用するケースも少なくありません。職員は診療の他に、現在、月二回、症例検討会と、現代医学の勉強会を毎週行い、よりよい治療を目指してがんばっています。

●学校人事

校 長 安雲和四郎
教 務 部 長 森俊豪
教 務 課 長 尾崎朋文
附属診療所鍼灸部長 佐藤正人

●新入社員紹介

学 校
教 員 小島賢久 (23期生)
事 務 吉村典子
診療所
鍼灸師 竹中浩司 (23期生)

●役員人事

理 事 長 坂口弘
副理事長 森俊豪
財務担当 三木完二
人事担当 清水巖
診療所担当 三好雪子
企画担当 花谷幸比古
理 事 安雲和四郎
監 事 多留淳文
監 事 安田実

平成12年4月より

柔道整復科開設予定

—詳細は本年7月頃決定—

【 後 記 】

新年早々に校友会報を発行しようと計画していましたが、発送が2月になってしまいました。柔道整復科の増設と、新館建設のニュースをできるだけ詳しくお知らせしたかったためです。ご理解下さい。これから大阪鍼灸専門学校からは目が離せません、ご注目下さい。

大阪鍼灸専門学校校友会々報

新春号 (1999.1発行)

編集発行責任者 尾崎朋文

●大阪鍼灸専門学校校友会●

☎537-0022 大阪市東成区中本4-1-8 ☎(06) 6976-6889